

## 中間評価集約

長野県梓川高等学校

本校では、教育目標及び年度重点目標を設定し、より良い学校づくりを推進しています。年度重点目標の具現化に向けた日常の教育活動について、自ら点検をし、改善すべき点を明らかにするとともに、その改善策、更なる発展をめざしての向上策を作成し、教育実践をしています。

年度途中の評価及び改善策・向上策は次のとおりになっています。より具体的な対策については、校内担当分掌を中心に鋭意検討しております。広く皆さんからご意見をいただき、本校の教育活動の充実と発展を図っていきたく思います。ご意見等ございましたら、Eメールで

## □ 教育目標

- (1) 自主性・協調性を培い、自ら学び自ら考える力を伸ばす。  
自主的・自律的に学校生活に取り組む校風、態度を形成する。  
生徒個々の学習意欲を高め、学習習慣を定着させる。  
基本的な生活習慣の確立を図り、倫理観や規範意識を高める。
- (2) 一人ひとりを大切にし合い、夢や希望を育み、個性を伸ばす。  
基礎・基本を確実に習得し、創造性を高め、個性を伸ばす。  
夢や希望、能力・適性、進路に応じた目標をもち、自己実現を図る。  
向上心をもって共に学び合い、思考力、判断力、表現力を伸ばす。
- (3) 心豊かで、たくましく生き抜く人間となる。  
幅広い学習体験や特別教育活動に取り組み、人間性と社会性を育む。  
人間尊重の精神、信頼と友情に基づく連帯感を育む。  
地域社会の要望に応え、社会に貢献できる人間となる。

## □ 中期重点目標

梓川高校及び梓川高校生の存在意義の確立

- (1) 「地域から信頼される学校」を目指して、「地域に開かれた学校づくり」を実践し、地域に根ざした梓川高校としての存在意義の確立を図る。
- (2) 梓川高校生の一人一人が将来への目標を掲げ、自主・自律的な意義ある高校生活を送り、社会の一員として自らの存在意義を確立していく。

## □ 今年度の重点目標

- (1) 地域・生徒の要望に応えた、創意ある教育活動、活力ある学校づくりに努める。  
多様化した現代社会に対応した、梓川高校の将来ビジョンの確立を図る。  
導入5年目を迎えたコース制について、更なる充実と発展に努める。  
地域との連携を密にすることにより、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の展開に努める。
- (2) 基礎・基本の確実な定着と個性の伸長を図り、生徒一人一人の進路目標の実現に努める。  
一時間一時間の授業の大切さを理解させる。
  - ② 習熟度授業・少人数制授業を実施するとともに、補習授業及び個別指導の充実を図る。
  - ③ 生徒一人一人の進路目標を早期に確立させ、その実現に向けての学習意欲の喚起に努める。
- (3) 基本的な生活習慣の確立を図ると同時に、自主的・主体的に行動する生徒を育てる。
  - ① 全職員の協力のもとに「身だしなみを整える、上下履きの区別をする、ゴミを散らかさない等」の基本的な生活習慣の確立を図る。
  - ② 自主的な生徒会活動等を通じて、生徒自身が集団生活のマナーやルールの大切さを理解し、自ら実践できるように指導助言する。

□ 中間評価

・ 評価項目の数字は、重点目標の項目番号になります。

領域	対象	評価項目	評価の観点	現段階の成果と課題	改善策・向上策	
教育活動	教育課程	1	コース制の充実	コース設置目標を踏まえた上で、コースの内容・カリキュラムの研究・検討を行い、コース制の改善を図っているか。 各コース履修者の70%が満足をしている(した)か。	ビジョン委員会の設置により、その話し合いが待たれている。特に人文・自然コースの特色化が早急な課題。 昨年度のアンケートの結果を見る限り、ある程度の満足感は定着していると考えられる。本年度のアンケートは未実施。	人文・自然の2コースについて、その意義を十分検討し、早急にその特色化を考える。と同時にコース制全体の見直しについても検討する。 昨年度のアンケートの分析を深めると同時に、今年度のアンケートの実施時期の検討。
		2	学習目標の確立	シラバスに基づき、生徒に学習目標・内容を公表・説明し理解させることで、生徒の学習意欲の喚起につながったか。	シラバスの作成及び公開については実施できたが、そのことが生徒の学習意欲の喚起につながっていないように思われる。	さらに効果的なシラバスについての検討を進める。(内容・配布の仕方)
	学習指導	2	授業改善	授業アンケートを実施し、基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組んだか。	アンケートは未実施であるが、職員が多くが現状に対して危機感を抱いている。	授業アンケートの実施についての検討及びその結果の分析の充実、それに伴う授業改善への全校上げての取り組み。
		2	個に応じた指導	生徒の要望等を把握し、補習授業及び個別指導の充実を図っているか。	個に応じた補習は、教員側の個人的な努力によって行われているが、仕事の多忙化等により、学校全体として、組織的、計画的には行われていない。	職員間の補習に対する意識の統一を図るとともに、補習の具体的なあり方についての検討。
		1	「総合的な学習」の充実	生徒が主体的に取り組める学習目標・年間計画を作成し、指導体制を確立させているか。また、新たな視点を取り込む努力をしているか。	年度当初に、見直しが図られ、担当者により内容の充実が図られている。その一方で根本的な見直しを考える声も多い。	今までの実践を総括し、系統的・体系的な学習ができるように内容及び指導体制を再検討する。また、次年度計画案を早めに立て、該当学年・教科等と検討する。
	生活指導	3	基本的な生活習慣の確立	全職員が一致し、基本的な生活習慣の確立に向けた具体的な実践項目(身だしなみ・上下履き・ゴミ散らかし等への指導)を作成、実行しているか。	上下履きの区別の取り組みは評価されている。今後その継続性が重要である。さらに、その他の問題にどう対応していくかが課題。	職員全体の意識と統一を図るとともに、具体的な取り組みの検討。上下履き指導等の継続。
		3	生徒相談体制の充実	生徒相談室係・スクールカウンセラー等と、職員間の連携を密にし、問題の解決に取り組んでいるか。	相談体制は充実したものとなっている。今後は全職員による、担任へのサポート体制の充実。	担任をサポートする体制作りの検討。
	進路指導	2	進路目標の確立と自己実現	生徒一人一人の進路目標の早期確立に向けた年間計画を作成し、その実現のための指導をしているか。	様々な取り組みが行われているが、生徒及び学校を取り巻く状況が変化しており、更なる効果的な取り組みが必要。また、進路に対する生徒の意識を高める必要がある。	系統的な、生徒の進路への意識を高める取り組みを検討。
				高い目標を持ち、その実現のための向上心のある生徒の学習意欲に応える取組を行っているか。	個々の能力に応じた指導が行われているケースも見られるが、全体的には不足している。また、向上心を持つ生徒の育成も不足している。	生徒に向上心を持たせるような取り組みの検討と、補習授業の具体的なあり方の検討。
	クラブ会	3	自主性を育てる指導	生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・主権者意識を育てられているか。	今年度の生徒会の活動は評価され、更なる期待がされている一方、生徒会へのアプローチのあり方も検討する必要がある。	生徒会・クラブ活動とともに、教員がどのように関わって行くかを検討する。
学校運営	組織運営	1・2・3	学校自己評価の実施	学校自己評価を実施し、教育活動の向上及び教育課程の改善を図っているか。	中間評価を実施しその結果を受けての研修会を8月5日に実施した。この方式も3年目を迎え、見直しも含め内容の更なる充実が必要。	評価の分析の充実を図るとともに、その対応策の検討を各担当ですすめる。
		1・2	情報集約	地域等への情報提供のための、諸活動の資料提供を積極的に行っているか。	情報係の取り組みに対する評価は高い。	さらにスムーズに情報提供がされる取り組みを検討。
	地域との連携	1・2・3	情報提供	本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供をしているか。	情報係の取り組みに対する評価は高い。	さらに充実が図れるように検討する。
		1・2	意見聴取と反映	地域の声を聴取し、教育活動に反映しているか。	地域の声について、一部職員の対応でとどまっており、全職員の意識統一は図られていない。学校評議員会からの意見等への対応も検討が必要。	地域の声に対しての対応体制を検討する。学校評議員連絡会等の意見の分析とその対応策の検討。
		1・2	教育力の活用	地域の教育力の活用を推進し、生徒の学習意欲を引き出しているか。	福祉コース等の限られた場面での活用にとどまっており、その活用のありかた(学校支援人材バンク等)に工夫が必要。	学校人材バンクの有効活用の検討。
	校内研修	1・2	授業・学習指導法の改善	研修会及び公開授業は、授業・学習指導法の改善を図るための研修となったか。	初任研等では、充実したものとなったが、学校全体としての取り組みとはなっていない。また外部向けの公開授業も成果を上げていない。	公開授業・研修会とともに内容の充実を図る。
		1・3	生徒理解	生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる生活指導・相談体制を確立するための研修となったか。	7月20日に相談室主催の学校カウンセラーによる研修会を実施した。	来年度に向けてさらなる充実を検討する。
施設設備	1・2・3	学習環境の整備	生徒が生き生きと活動できる学習環境を整備しているか。	生徒の意識の低さも問題であるが、安全面等で問題がある施設も多い。	日々の清掃の一層の強化と生徒会整美委員会との連携を図る。 施設設備に関しては、予算等を考慮しながら、計画性をもって整備に努める。	